



Title	看護師・助産師・保健師を応援しよう！ Part1
Author(s)	
Citation	目で見えるWHO. 2020, 74, p. 20-21
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86518
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

看護師・助産師・保健師を

2020年は『国際看護師・助産師の年』です。現在COVID-19パンデミックの中、看護師、助産師、保健師の活躍が目覚ましいことは皆様ご存知の通りです。しかし看護師・助産師・保健師の仕事はCOVID-19だけではありません。パンデミックの中でも、すべての人の命と健康を守るため、最前線で様々な活動を続けています。



小阪田千聖さん

済生会吹田病院 GCU、産婦人科病棟

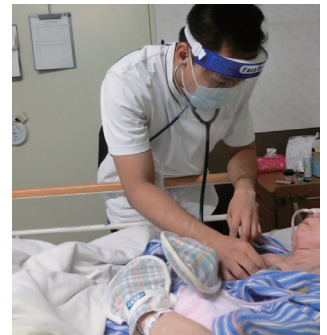
私たちは、周りの人の心や体を元気にする力を持っています。そのことを忘れず、自分を大切に、皆で支え合っていきましょう！



INIBA DEO RAY CABANADAさん

わかくさ竜間リハビリテーション病院

フィリピンから来日しました。今後のグローバル社会に向け、私の看護力と英語力が少しでも多くの方に役に立てればと考えています。



岡本昂さん

佐野記念病院 急性期病棟

整形・脳外科看護師です。術後の患者様の笑顔やリハビリを頑張っている姿が仕事へのやりがいとなっています。



小島璃月さん

武庫川女子大学 看護学部4年

先輩方のように愛のある看護と責任感を大切に、一生懸命頑張ります。(医療従事者へ感謝の動画を配信。

YouTube: R_moon15)



西口真央さん

ホバーズ記念病院 障害者病棟

子どもたちが安心して入院生活が送れるよう「医療安全」に力を入れています。子ども達の笑顔を守り隊！！



西田明子さん

大阪府富田林保健所 地域保健課

新型コロナウイルス感染症への不安の訴えやPCR検査希望者からの相談等に対して、丁寧に対応しています。



応援しよう! Part 1

今回は、大阪府看護協会とのコラボで2020年世界保健デーのテーマでもある、「看護師、助産師を支援しよう!」にちなみ、日本国内外を問わず第一線で働く方々、そして、これから看護職を目指す学生さんの“声”を3回シリーズで皆様にお届けしたいと思います。



Barachina愛子さん

Harbor-UCLA Medical Center, 米国

コロナ感染患者と共にER(救急外来)で闘っています。

感染拡大をみんなで防ぎましょう!



平松佳世子さん

三康病院 外来透析室主任

社会的距離が必要な時代ですが、患者様とは笑顔で向き合い、心の距離をつないでいます。



橋本淳子さん

市立柏原病院 緩和ケア病棟師長

患者さんの今まで生きてこられた人生を尊重し、思いに寄り添いながら、身体や心のケアに取り組んでいます。



梅田祥太さん

大阪はびきの医療センター

コロナ渦の中でも、病気の子供たちが笑顔になれるよう頑張っています!



Nursing Now (ナーシング・ナウ) とは?

Nursing Nowは、看護職への関心を深め、地位を向上することを目的とした世界的なキャンペーンです。世界保健機関(WHO)と国際看護師協会(ICN)が連携し、Nursing Nowキャンペーン理事が運営しています。2021年6月までキャンペーンを展開します。看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、看護職が健康課題への取り組みの中心に立ち、人々の健康向上に貢献するために行動します。

出典:公益社団法人 日本看護協会 「Nursing Nowキャンペーン」

https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing_now/index.html
(2020年8月20日閲覧)

Nursing now

看護の力で健康な社会を!